

二月二日の節分

節分といえば、二月三日。これが殆どの現代日本人が思う節分の日でしょう。しかし、この節分の日を決めているのは、厳密には「立春」の日です。

立春とは、「太陽黄経が三一五度になった瞬間が属する日」とされており、この日を境に、季節は「春」となり、冬と春の季節の分かれ目であるので、立春の前日を「節分」と呼びます。

しかし、本年は太陽運行の都合上、太陽黄経が三一五度となるのが、二月三日二時五九分であり、たった一分間ですが、二月三日が立春の日となる為、実に一二年ぶりに二月二日が節分の日となります。これは明治三十年（一八九七）以来の大変珍しい事です。

地球の自転軸の傾きを考慮した一年は三六五・二四二・八九日なので、一年で六時間弱ずつ遅くなりズレが生じます。これを解決するのが四年に一度の閏年ですが、これでも若干のズレが生じてまいります。そうしたごく僅かなズレの蓄積によって節分の日が変動してくる訳です。

今世紀後半になって参りますと、その変動で節分の日が二月二日になる年が増える為、今世紀後半には二月二日が節分の日というのが当たり前になってくるとみられています。

元来、節分は立春以外でも、立夏、立秋、立冬の前は節分の日でしたが、立春前の節分だけが残ったのは、ちょうど旧暦のお正月の時期に当たっていた事と、インフルエンザなどの疫病が流行しやすい時期という事を感じ取っていた民衆によって、悪疫を打ち払うという事がとても大切な事とされた名残ともいわれています。

奇しくも現代の私たちもコロナウイルスで大変な状況です。これまでよりも一日早い節分にあやかり、一日も早いコロナ禍の終息を願わずにはおられません。

菜種守の授与

本年も天神さまと茶屋町に縁深い、菜の花に因んだ、イライラ封じの御守、「菜種守」を期間限定で授与いたします。荒む心を宥め、気持ちを明るくする事を祈念した開運の御守です。二月二十五日から茶屋町の御旅社で授与致します。※土日十三時〜十七時であれば確実に授与ご対応可能です。

御朱印について

先月、緊急事態宣言が再発出されて以降、当宮におきましては、御朱印帳への直書きは中止させて頂いております。一枚ものの紙にお書きする「書き置き」のみでのご対応となります。当該社報執筆時点では二月七日に解除の予定ではありますが、感染状況を鑑み、もし解除となっても、しばらくは書き置きのみでのご対応とさせて頂きます。何卒ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。

今月の暦

【祭祀】 節分祭(二日)：立春前日。旧暦のお正月頃。鬼やらい祈年祭(十五日)：今年の豊穰祈願。神宮では十七日梅花祭(廿五日)：菅原道真公の御命日

【節気】 立春(四日)：冬が極まり春の気配が立つ頃。極寒期雨水(十九日)：雪が雨に変わる頃。実際は積雪真盛り

【雑節】 初午(三日)：お稲荷さんの御縁日。商売繁盛の祈願日

【大安】 二月五日、十一日、十六日、廿二日、廿八日

【祝日】 建国記念の日(十一日) 天皇誕生日(二十三日)

【旬】 【野菜】 水菜、春菊、菜の花、大根、ネギ、ふきのとう
【果物】 イチゴ(温室)、柑橘類、キウイ、リンゴ
【魚介類】 フグ、サワラ、ウカサギ、ホタルイカ
【その他】 梅花、菜の花、福寿草、海苔

雑感 一昨年の十二月八日に最初のコロナ感染者が確認されてから、本稿執筆時点で日本では四十万人以上の感染者、一千人近くの死者数となり、世界では感染者数一億人以上、死者数二百万人となっています。たった一年で世界の至るところに広まりました。現代、世界は密接に繋がっている事を改めて認識させられました。現代、世界は活に飽き飽きしている方も多いためですが、こういう時こそ気を引き締めなければなりません。これはウイルスという鬼との戦いです。鬼退治のあとには福が来るよう、今は頑張ります。

網敷天神社 SNS、地図サイト

Twitter, Facebook, Google MAP QR codes

編著 網敷天神社 白江 秀知 禰宜(御旅社 神主)